

男女が **共に** 担うべき **アンペイドワーク**



家族 にとっての ジェンダー平等

とは?



女性の社会での活躍を推進するためには、家事・育児・介護などの家庭内労働(アンペイドワーク)への男性の積極的参画が不可欠である。ジェンダー平等を支持する男性に呼びかける国連キャンペーン(He For She)が始まって久しいが、日本のジェンダーギャップ指数は相変わらず先進国最低レベルである。日本の男性の意識変容、そして行動変容を促すには何が必要なのか。「性別役割分業的職業観」がアンコンシャス・バイアスとして社会に根強く残っている現状を変えるための方策を専門家の方々をお迎えし、男性と女性がともに考える場としたい。

日時

2022.12.11 日

14:00~16:00

会場 オンライン開催(zoomウェビナー)

参加費 **無料**

参加方法 事前申込が必要です。

定員 **300名**

申込期間 2022.11.14(月)~12.9(金)

お申込みフォームは
こちら

※QRコードの商標は(株)デンソーウェーブの登録商標です。



スケジュール

開会挨拶 平野 順子(女性未来研究所 副所長)

基調講演 講師 山根 純佳(実践女子大学 教授)
演題 家族にとっての“ジェンダー平等とは?”

国連キャンペーン「He For She」スピーチ
国連でのエマ・ワトソンのスピーチ動画視聴

パネルディスカッション(鼎談)

テーマ 「女性の社会進出を支える未来(これから)の男性像」

- パネリスト① 萩原なつ子(国立女性教育会館 理事長)
- パネリスト② 山根 純佳(実践女子大学 教授)
- パネリスト③ 東京家政大学女性未来研究所兼任研究員

総括 樋口 恵子(女性未来研究所 名誉所長)

